

総合ドイツ語B

Practical German B

業：K2-20221MY、生命：K2-20221MS

素養科目 2年／後期 1単位 選択科目

科目責任者 吉羽 里恵(非常勤講師)、相馬 大樹(非常勤講師)、三枝 桂子(非常勤講師)

授業担当者 A組：吉羽 里恵(非常勤講師)、B組：未定、C組：相馬 大樹(非常勤講師)、S組：三枝 桂子(非常勤講師)

■教育目的（各クラス共通）

●1年次に学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、さらに発展させるため、〈読む、書く、話す、聞く〉などの総合的な実践練習を積む。

●基本文法を復習しながら、比較的やさしい読み物やニュース記事などを正しく読みとる力を養う。

●最近のニュースに触れ、特に医療や健康に関わるグローバルな問題などに関心を持ち、ドイツなどヨーロッパの取り組みを考える。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 基本的な語彙を増やし、構文に習熟することで、ドイツ語での平易な会話表現ができるようになる。(知識、技能)
2. 基本文法の知識を用いて比較的長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。(知識、技能)
3. ドイツ・ヨーロッパの政治、社会、医療のかかえる問題などにも関心を持つ。(知識、態度)
4. 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を入手し役立てられるような語学力を身につける。(知識、技能)

■授業内容

A組 吉羽 里恵(非常勤講師)

前期に引き続き、既習事項を確認しながら、ドイツ語の文法・語彙・表現の応用的な学習の成果を、読解・会話・作文などの具体的な運用に実践していくことを目指します。より高度なテキストの分析的な精読とテーマ考察を通じて、異文化理解をさらに深めていきましょう。

[No.1] 第4課 (2) Kartoffeln：不定冠詞類 (所有冠詞・否定冠詞)

[No.2～3] 第5課 Zahnpasta：人称代名詞、再帰代名詞、再帰動詞

[No.4～5] 第6課 PEZ：前置詞

[No.6～7] 第7課 Zeiss：複合動詞、従属接続詞と副文

[No.8～9] 第8課 Babyklappe：話法の助動詞、未来形、非人称の es

[No.10～12] 第9-10課：動詞の過去分詞、現在完了形、過去形、zu 不定詞

[No.13～15] 読解総合演習とこれまでの復習

準備学習（予習・復習）：予習：文法事項を1年次の教科書で予め確認する。分からない単語を辞書で調べる（30分）／復習：宿題に取り組む。新しく学んだ事柄を整理する（30分以上）

授業形態：グループワーク、双方向型授業（ICT活用）、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。【成績評価方法】 期末試験（80％）と提出課題（20％）で総合評価する。

教科書：『身近なドイツ語 一話したくなる 10のトピック』木戸紗織著（朝日出版社） 2020年

ISBN：978-4-255-25428-9

参考書：独和辞典（電子辞書可）、1年次で使用した教科書

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合があります。

B組 未定

前期から引き続き、後期も同じ教科書の後半7課から12課まで講読していきます。新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。教科書は各課ごとにドイツ人の生活をテーマにしています。文法の復習をしながら、会話の練習と新たな文法知識を積み重ねていき、各テーマについて考察します。

[No.1～2] 第6課：ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.3～5] 第7課：ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.6～8] 第8課：ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.9～11] 第9課：ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.12～14] 第10課：ワークブックの課題と教科書の会話課題

[No.15] これまでの復習

準備学習（予習・復習）：分からない単語は辞書で調べ、練習問題はあらかじめ自分でやってから授業に臨むこと。

予習：辞書を引いてわからない単語を調べる（30分）／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。（30分以上）

授業形態：グループワーク、双方向型授業（ICT活用）、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題（レポート、試験等）のフィードバックについて：授業や

定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。

成績評価方法：期末試験(80%)、課題提出(20%)で総合評価する。

教科書：未定

参考書：未定

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合がある。

C 組 相馬 大樹(非常勤講師)

一年次に学んだ文法をもとに、ドイツ語の基礎的な表現を中心に学んだ前期に対し、後期は習得した文法や語彙をもとに、様々なタイプの文章を読んで、読解力に磨きをかけることに重点を置きます。文章を論理立てて読んでいく楽しさを体感してください。

[No.1 ～ No. 2] ガイダンス、前期の文法事項の確認

[No.3 ～ No. 4] 形容詞の語尾変化

[No.5 ～ No. 6] 関係文

[No.7 ～ No. 8] 受動態

[No.9 ～ No. 10] 接続法

[No.11 ～ No.12] 長文を読む①

[No.13 ～ No. 14] 長文を読む②

[No.15] まとめ

準備学習(予習・復習)：予習：テキストの新しい単語をチェックし、1年次の教科書で文法事項に目を通しておく。(30分)／復習：新しく学んだ構文や表現を整理して覚える。(30分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業(ICT活用)、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や課題、小テストに関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】期末試験(80%)、課題(20%)で総合評価する。

教科書：谷澤優子ほか著『クラッセ！ ノイ 初級ドイツ語総合読本』白水社、2018年

参考書：1年次に使用した教科書と独和辞典(電子辞書可)

その他：履修者は、すでに「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合がある。

S 組 三枝 桂子(非常勤講師)

1年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。前期に引き続き、会話表現を中心に「話す・聞く・読む・書く」能力を高め、実際に活用できるドイツ語を身に付けることを目指します。同時に、ドイツ語圏の文化や歴史についても学びますので、日本とドイツの違いを知ることから、異文化理解を深めていきましょう。

[No.1～2] 第7課：3格、3格支配の前置詞

[No.3～4] 第8課：4格支配の前置詞、3・4格支配の前置詞、複合動詞、時刻の表現

[No.5～6] 第9課：話法の助動詞、未来形、zu不定詞

[No.7～8] 第10課：再帰名詞、再帰動詞、従属接続詞、従属文

[No.9～11] 第11課：過去形、現在完了形

[No.12～14] 第12課：非人称構文、形容詞の格変化、形容詞の比較級と最上級

[No.15] これまでの復習

準備学習(予習・復習)：予習：分からない単語を辞書などで調べる(30分)／復習：新しく学んだ単語や表現を整理し、音声を聞きながら発音の練習を行う(30分以上)

授業形態：グループワーク、双方向型授業(ICT活用)、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。

【成績評価方法】期末試験(80%)と課題、小テスト、発言(20%)で総合評価する。

教科書：『Klasse! neu (クラッセ！ ノイ)初級ドイツ語総合読本』谷澤優子ほか著(白水社)2018年

ISBN 978-4-560-06421-4

参考書：独和辞典(電子辞書、アプリケーション可)

その他：履修者は、すでに「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合がある。